

令和4年第1回滝川市議会定例会市政執行方針等に対する代表質問

質問順位	1	質問者	東元勝己議員		
件名	項目	要旨		メ	モ
1. 市政運営の基本的な考え方	1. 前田市政3期目最終年度、市政運営の基本姿勢について	1. 市長は今年の一文字として「快」を掲げられて、新型コロナウイルスの状況快方、経済や日常生活が戻ることへの期待を述べられていますが、それ以外にポイントがあれば改めてこの「快」に込められた市政運営へ向けた思いを伺います。			
	2. 滝川市総合計画について	1. 各地の自治体ではまちづくり政策の基本となる経済・福祉・文化・スポーツなどの項目で、SDGsの考えに基づいて行うことを明確にしているところが増えてきています。滝川市総合計画を検討する上でSDGsの目指す目標を考慮する考えはあるのか伺います。			
		2. 新年度は今後10年間のまちづくりの指針となる滝川市総合計画策定年度となります。全国の地方都市が共通する課題である①少子化による人口減少 ②超高齢社会への対応 ③橋梁や水道などインフラに係る莫大な更新費用の確保等を念頭に置かなければならない大変な事業計画と認識します。これまで以上に滝川市民全体の覚悟と協力体制が必要と強く考えるところです。策定にあたり市長の考えを伺います。			
3. 新型コロナウイルス感染症対策について	1. 財源が限定される地方自治体におけるコロナ対策には、国の交付金事業に頼らざるを得ない実態があることは理解します。 更なるウイルス変異が想定される中、滝川市として感染予防対策に最善を尽くすことが求められますが、市内経済の視点からイベントや催事におけるウイルスとの共生も議論が必要な時期が来るかもしれません。大変難しい論点と言えますが、現時点での考えを伺います。				

質問順位	1	質問者	東元勝己議員		
件名		項目		要旨	メモ
			2. 令和3年度補正予算による地方創生臨時交付金を活用した住宅改修、主食用米影響緩和など主要事業が予定されていますが、市民に広く還元するためにプレミアム商品券の発行、コロナにより収益の厳しい業種への支援など、今後幅広い支援策を検討する考えがあるのか伺います。		
	4. ワークーションについて		1. ウイズコロナ・アフターコロナを見据え、グライダーを主軸としたワークーション推進事業に取り組むとありますが、昨年秋に行われたワークーション実証事業を含め、ワークーションの今後の展開について伺います。		
	5. 公共施設個別施設計画について		1. 前田市長が就任されて以降、これまで懸案であった個別施設の存廃に英断を下されてきたことに敬意を表します。既存施設を廃止することは建設よりも大きなエネルギーを使い、時として大きな市内論争を生み出しますが、この度の個別施設計画策定へ向けた市長の考えを伺います。		
	6. 各種計画の策定について		1. 新年度は滝川市総合計画をはじめ、公共施設個別施設計画、立地適正化計画、中空知地域公共交通計画、障がい者計画の策定に加え、空家等対策計画の運用も始まり、それぞれの計画を実効性の高い計画とするために、策定作業を含めどのように進めようとしているのかを伺います。		

質問順位	1	質問者	東元勝己議員		
件名	項目	要旨		メ	モ
2. 元気な産業と活力あるまちづくり	1. 地域おこし協力隊について	1. 新年度は滝川クラフトビール工場の運営を担う醸造士の育成と新規就農者の育成確保のために地域おこし協力隊を募集することです。過去に採用された地域おこし協力隊員で現在も滝川で活動をしているのは僅かと承知していますが、移住も含め長期的な展望を見据え協力隊員を活用していくことが必要と考えますが、見解を伺います。			
3. 機能的な生活基盤の充実したまちづくり	1. 立地適正化計画について	1. 新年度は上位計画とも関連する「立地適正化計画」の素案づくりが実施されます。人口規模に応じた土地利用、コンパクト化、都市防災等の課題抽出と整理が求められますが、全てに注力するのは現実的でないと考えます。最重要課題としてどのような視点が挙げられるのか伺います。			
4. 誰もが住みよい安全安心なまちづくり	1. 市立病院看護師確保対策について	1. コロナ禍においてエッセンシャルワーカー、とりわけ看護師の労働環境は悪化しています。一人でも多くの命を救うため、看護師確保対策は重要です。新年度からは新たな市立高等看護学院の供用が開始されます。 学院生の確保も重要ですが、現在の看護師不足の大きな要因は何と捉えているのかを伺います。			
5. 未来へはばたく子どもたちを育むまちづくり	1. 國學院大學観光まちづくり学部との連携について	1. 新年度から國學院大學に「観光まちづくり学部」が開設されます。当地のフィールドや関連する諸団体を活用した新たな展望が開かれることを期待します。地域連携へ向けての具体的な検討はどういった組織がいつ頃から始めるのかを伺います。			

質問順位	1	質問者	東元勝己議員		
件名		項目	要旨	メモ	
6. 市民が活躍するまちづくり	1	1. 資源リサイクルの推進について	1. 今年度、ペットボトルの回収方法が変更されましたが、実施状況はどの程度まで進んだのか現状を伺います。また、新年度は「雑がみ」の分類を中心に資源リサイクルを推進するとのことですが、どのような周知方法を予定されているのかを伺います。		
7. 効率的な行政運営によるまちづくり	1	1. 行政運営の効率化とDX（デジタルトランスフォーメーション）の推進について	1. 現状のアナログ業務体制を改善し市民サービスを向上させるために、自治体DXは必須だと考えられています。総務省の「自治体デジタルトランスフォーメーション(DX)推進計画」では、まずは以下の2点を進めることが重要だと示されています。 ①自らが担う行政サービスについて、デジタル技術やデータを活用して、住民の利便性を向上させる ②デジタル技術やAI等の活用により業務効率化を図り、人的資源を行政サービスの更なる向上に繋げていく このことを踏まえ本市のDXに対する基本的な考えを伺います。		
		2. 滝川市第2期財政健全化計画について	1. 現状を鑑み大変厳しい予算編成だったと推察しますが、新年度は第2期財政健全化計画の3年目にあたり、事務事業の見直しを進めると基本方針に掲げられています。ここ20年間、可能と思われる事業費削減を続けてこられた経緯を考えると更なる見直しは厳しいと思われますが、考えを伺います。		

質問順位	1	質問者	東元勝己議員		
件名	項目	要旨		メ	モ
8. 教育行政	1. 基本方針	<p>1. 滝川市一般会計の費目別予算に占める教育費の割合は、令和4年度の構成比で5.1%で、耐震化や大型改修を実施した年度は10%程度となっています。</p> <p>他市の状況では岩見沢市で約10%、砂川市で7%と高く、空知管内の各市では5%台が多い状況となっています。教育費の割合をもっと高めるべきと考えますが市長の見解を伺います。</p>			
	2. 学校教育について	<p>1. 教育委員会で定めた「業務改善推進プラン」の具体的な内容について伺います。</p>			
		<p>2. 新年度予算では授業支援ソフト「ロイロノート」の導入による更なる充実が盛り込まれています。2022年度文部科学省の予算では、GIGAスクールにおける運営支援・指導力向上支援等「14億円」が計上され、委嘱された専門推進チームによる自治体指導内容の助言等が事業実施されます。</p> <p>委託先は民間企業であり、現状のGIGAスクール運用における第三者的視点を活用する意味で事業応募する価値があるのではないかと思います。考えを伺います。</p>			
		<p>3. 新年度より江部乙中学校は江陵中学校に統合されます。生徒への精神的負担を軽減させ、新たな学習環境へ少しでも早く移行できるように希望しますが、統合後の対応策について伺います。</p>			